

栄養サポート通信

~82号~

腸活に有用とされる

「シンバイオティクス (Synbiotics)」

を知っていますか？

プロバイオティクス

- ・乳酸菌・ガセリ菌
- ・ビフィズス菌など

プレバイオティクス

- ・ガラクトオリゴ糖
- ・食物繊維など

シンバイオティクス

< 感染性合併症の発症メカニズム >

高度侵襲

- ・手術
- ・化学療法
- ・大けが等

有用菌の減少

(乳酸桿菌、ビフィズス菌、偏性嫌気性菌)

腸内環境の異常

(有機酸濃度 (酢酸など) の低下)

感染症起因菌の
異常増殖

腸管上皮バリアの
破綻

腸管からの
栄養素吸収の低下

バクテリアルトランスロケーション 【感染性合併症の発生】

シンバイオ
ティクスが
制御に関わる！

救急・集中治療領域におけるシンバイオティクス投与により、下痢や肺炎の発生頻度、人工呼吸器使用期間、ICU滞在期間を減少させることが報告されています。

当院採用の**プロ**バイオティクスを含む栄養補助食品

消化態栄養剤	半消化態栄養剤	粘度調整食品	経口栄養剤
			
ペプタメン プレビオ	アイソカル サポート	REF-P1	CP10
<ul style="list-style-type: none"> ・フラクトオリゴ糖 ・イヌリン ・水溶性食物繊維 (グアーガム分解物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶性食物繊維 (グアーガム分解物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶性食物繊維 (ペクチン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラクトオリゴ糖

➡ **プロバイオティクス含有**の「**ビオフィェルミン錠剤**」や「**ヤクルト(乳酸菌)**」「**飲むヨーグルト(ガセリ菌)**」との組み合わせがオススメです！

救急・集中治療領域に限らず、腸内環境を整えることはどの病態においても重要です。

下痢や便秘などに難渋する症例があれば、NSTへご相談ください。

